

下町（ダウントウン）（1957）

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 58分

初公開日 1957/10/29

【解説】

林芙美子の同名小説を、笠原良三と吉田精弥が共同で脚色し、千葉泰樹が監督し映画化。山田五十鈴と三船敏郎を主演に迎え、戦後の日本を舞台に愛を描くラブロマンス。

敗戦後、りよは幼い留吉とともに、シベリアから帰らぬ夫を待ち続けていた。茶の行商をしているが、売れ行きは上がらず、生活はなかなか楽にならない。あるとき暖を取るために入った川辺の小屋で、りよはシベリア帰りの鶴石と出会った。鶴石は無骨ながら優しく、留吉もよくなつた。りよは間借りしている家の家主の妻きくから売春の仕事を斡旋されそうになるが断る。鶴石とりよと留吉は遊びに行った帰りに雨に遭い、小さな旅館に泊まることにした。そしてその夜、りよは鶴石と結ばれた。

【クレジット】

監督 千葉泰樹

製作 藤本真澄

原作 林芙美子

脚本 笠原良三

吉田精弥

撮影 西垣六郎

美術 中古智

音楽 伊福部昭

出演 山田五十鈴

三船敏郎 Toshiro Mifune

田中春男

多々良純

淡路恵子 Keiko Awaji

村田知英子

亀谷雅敬

馬野都留子

沢村いき雄

鈴川二郎

中野トシ子

土屋詩朗

広瀬正一

佐田豊

五十嵐和子

中山豊

岩本弘司